横浜市立根岸小学校

令和３年度　学力向上アクションプラン

１　中期学校経営方針

（１）学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
「笑顔と拍手に包まれて、夢に挑戦根岸の子」 ～自らの可能性を信じ、夢の実現を目ざして、 たくましくあゆみ続ける子の育成～	心身ともにたくましく生きる力

（２）中期取組目標

中 期 取 組 目 標
○「チーム根岸」として、全職員が児童一人ひとりを大切にし、子どもたちの笑顔があふれる学校づくりを目指します。 ・学び合いの楽しさを味わい、粘り強く課題に取り組めるように授業改善を行い、学力向上を図ります。 ・挨拶を大切にするとともに、自他の良さに気付き安心して過ごせる居場所づくりを進めます。 ・自分の体力に目を向け、日常的に進んで運動する子を育てます。 ・「根岸のまち」の人との地域活動を通して、まちを愛する子を育てます。 ・組織的・効率的に業務を行うとともに、学び続ける職員集団をつくります。

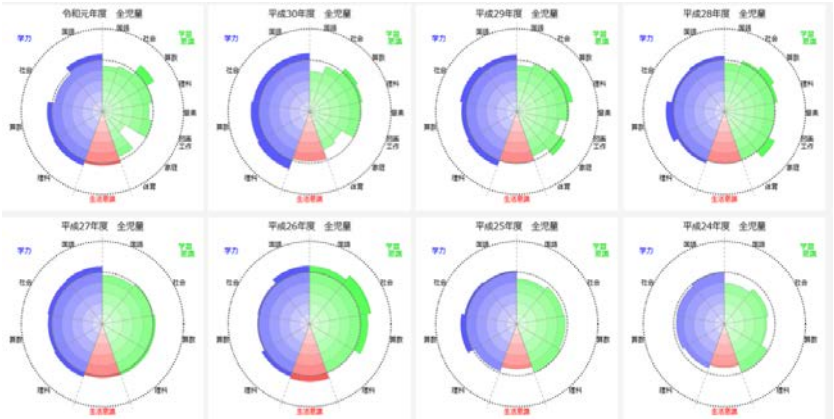
（３）学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具 体 的 取 組
生きて　はたらく知		①学校全体で根岸スタンダードを確認し、指導することで、学習に集中して取り組む姿勢を育成する。②算数少人数やパワーアップ学習を通して、個に応じた丁寧な指導を行う。③国語の授業研究や教科分担制により、教材研究の機会を充実させ、授業の質を向上させていく。
担当	教育課程委員会	

２　横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

（１）学力概要と要因の分析

一昨年度の学力テストの結果によると、学校全体としては、市の平均を概ね上回る結果となった。しかし、前年度までの結果と比べると、社会が市平均を下回る結果となった。これは、特に学力層全体が下がったのではなく、Ａ層も増えたが、Ｄ層も増えてきたという二極化の結果が出たものである。国語や社会で児童に目的意識をもたせられる手立てや工夫が必要である。



（２）分析から今後に向けて

これまでの根岸小学校で積み重ねてきた学習を定着させるための具体策として、学習のスタンダードを整え、教職員全体の共通理解のもと各学級が学び合う集団になっていくために、学習指導を丁寧に行ってきたことがあげられる。分析結果から、引き続き、学校生活の基盤となる授業や学習活動が落ち着いて進められるよう基本ルールとなるスタンダードを学年間で読み合い、徹底を図っていく必要がある。そうすることで、学びの場が落ち着き、安心して学習に参加できる学級の基礎作りを行い、その基礎の上に少人数やパワーアップ学習（取り出し学習）など個に応じた指導の充実を図ったり、重点研究を基盤とした日々の教科学習の指導を工夫したりすることで、児童が目的意識や相手意識をもって主体的に学習に活動に参加できる手立てを考えていくことで学力向上につながると考える。

昨年度より、学習指導要領が完全実施となった。校内で指導と評価のカリキュラムマネジメントを進めていくためにも、評価規準の具体を学年内で見直していく。また、高学年を中心に一部教科分担制を取り入れることで、指導者の自身の指導についての評価としても改めて学習評価を活用していくことで、学校や学年で同じ規準に照らした指導改善を図っていくことで質を高め、児童の学びが深まるようにしたい。

３ 令和3年度　学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
１年	◆地域への興味関心の高まり ◆友達を思いやる態度 ◆思いや願いをもち、友達と関わり合う力	○幼稚園・保育園等との交流を通して、友達だけでなく地域の人たちとつながる場面を位置付ける。 ○子どもたちの気付きを適切に捉えて支援することで、自分のこととして課題に取り組むことができるようにする。	
２年		○人やものとの関わりの中で、自分の思いや考えをもつことのできる場面を位置付ける。 ○様々な体験活動を通して、自分の言葉で相手に伝えようとする意欲を高める。	
３年	◆多様性を尊重する態度 ◆他者・自己を理解する態度 ◆生活・学習経験をもとに伝え合う力	○まち探検やまちのために働く人々について学習する等、地域に関わる場を設定することで、地域や社会の中で多様な人々と共に生きていく意識をもつ。 ○ハンドサイン等を用いて他者の意見に対して自分の考えを表すことのできる話合いをする。	
４年		○友達のよさを見つける活動を通して、互いに認め合うことができるようにする。 ○根拠をもって自分の考えを伝え合う時間を通して、他者理解を深める。	
５年	◆多面的・多角的に思考する力 ◆安全に行動する力 ◆協働的に行動する態度	○様々な学習の場面で課題解決に向けて、子ども同士が考えを伝え合い、他者の考えと比べることを通して思考を深められるようにする。 ○様々な設定の避難訓練を通して防災への意識を高め、自助・共助の精神を養う。	
６年		○子ども同士が考えを伝え合い、多面的・多角的な視点で課題解決をできるようにする。 ○日常生活、学習の様々な場面において、グループ活動を通して協働して問題解決に取り組むようにする。	
個別支援学級	◆自らの健康への気付き ◆友達を思いやる態度 ◆人々との関わりを大切にする姿勢	○子ども同士が楽しく話したり、活動したりできるようになるために、意図的に場を設定する。教師が一緒になって関わりの橋渡しをすることで、他者への感謝や思いやりをもてるようにする。 ○健康観察や体育等の活動の中から自己の健康への気付きを促すような声かけや指導を行う。	